

性教育の新たなスタートへ向けて  
一行政、教育現場とともに歩む  
「性教育の現状と問題点」

日本産婦人科医会 常務理事  
安達 知子



## はじめに

健康教育は、子どもたちの発達段階にあわせた課題に対し、主に保健体育の教科の中で行われる。

教育は文科省の定める学習指導要領に沿って行われるが、特に、性教育(性の健康教育)に対する文科省の姿勢は極めて消極的で、かつ学ぶべき内容の一部に歯止めがかかっているといえる。

最近、都道府県や自治体レベルで、行政・教育委員会、学校現場が協力し、地元医師会への要請から地域の産婦人科医が実情に合った性教育を開始しつつある。

本日は思春期の性に関する最新のいくつかのデータを示すと共に、子供たちの性の健康を守り育てるために、「学校における性教育」について一緒に考えて頂きたい。

# 母の年齢別 出生数の年次推移

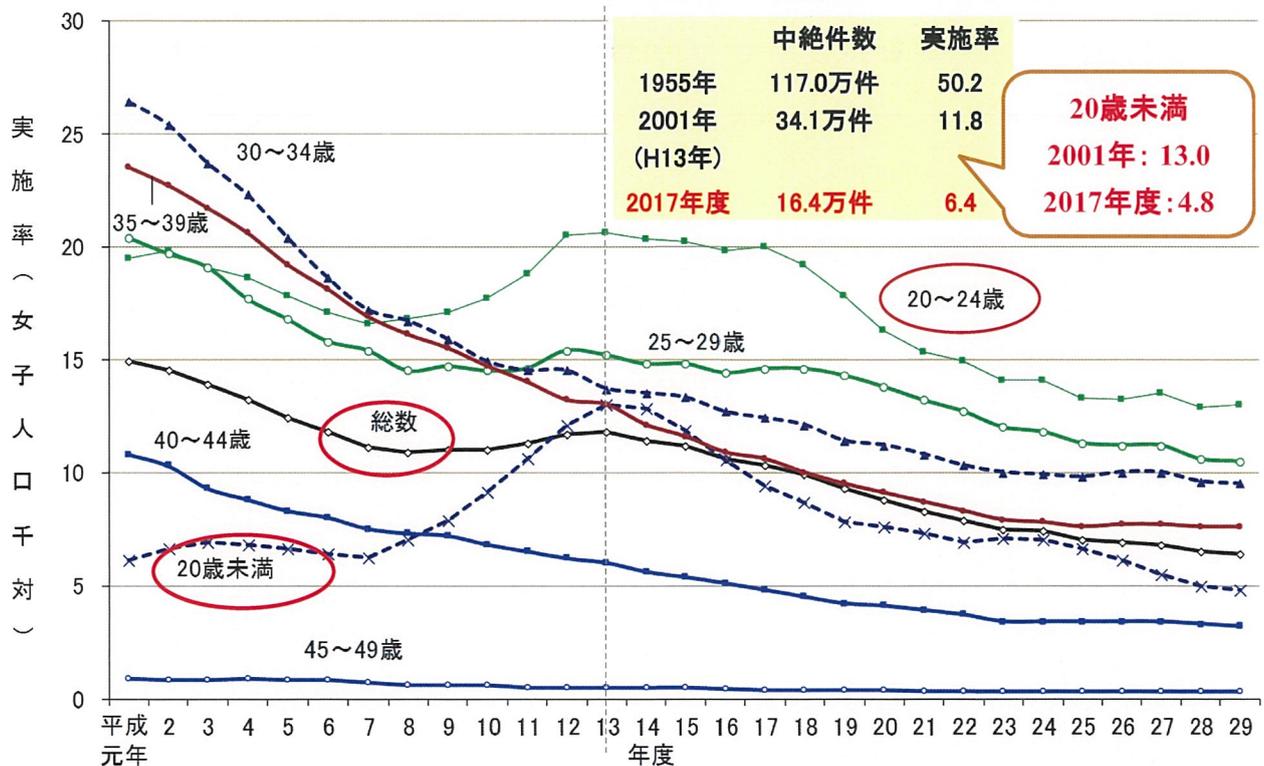
厚生労働省人口動態統計

母の年齢	1975	1985	1995	2005	2010	2016	2017
総数	1,901,440	1,431,577	1,187,064	1,062,530	1,071,304	976,978	946,065
～14歳	9	23	37	42	51	46	37
15～19	15,990	17,854	16,075	16,531	13,495	11,049	9,861
20～24	479,041	247,341	193,514	128,135	110,956	82,169	79,264
25～29	1,014,624	68 885	492,714	339,328	306,910	250,639	240,933
30～34	320,060	381,466	371,773	404,700	384,385	354,911	345,419
35～39	62,663	93,501	100,053	153,440	220,101	223,287	216,938
40～44	8,727	8,224	12,472	19,750	34,609	53,474	52,101
45～49	312	244	414	564	773	1,350	1,450
50歳以上	7	1	-	34	19	51	62
不詳	7	38	12	6	0	0	

2018年の出生数概数は918,397人

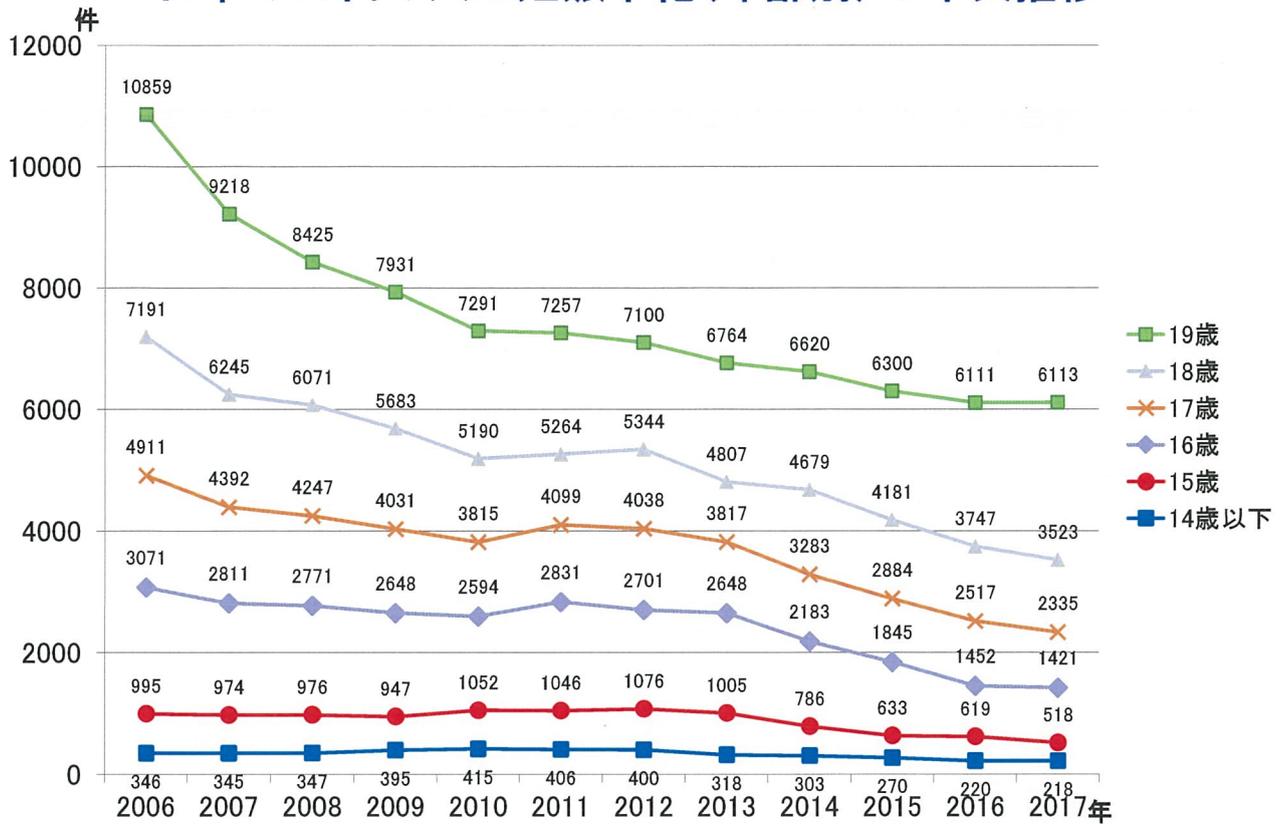
## 年齢階級別人工妊娠中絶実施率の年次推移

(女子人口千対の人工妊娠中絶率 平成元年～29年度)



平成13年以前は年、14年からは年度の数値である  
厚生労働省 平成29年度衛生行政報告書より

## 日本の10代の人工妊娠中絶(年齢別)の年次推移



厚生労働省 衛生行政(2017年)より報告

## 5歳階級別 出産数、中絶数と中絶選択率(2017年度全国)

年齢(歳)	出産数A	中絶数B	中絶選択率 B/(A+B) %
<20	9,898	14,128	59%
20-24	79,264	39,270	33%
25-29	240,933	32,222	12%
30-34	345,419	33,082	9%
35-39	216,938	29,641	12%
40-44	52,101	14,876	22%
45-49	1,450	1,363	48%
50≦	62	39	39%
全年齢	946,065	164,621	15%

厚生労働省平成29年度人口動態調査と平成29年度衛生行政報告例より作成

# 若年者の出産数、中絶数と中絶選択率 (2017年度全国)

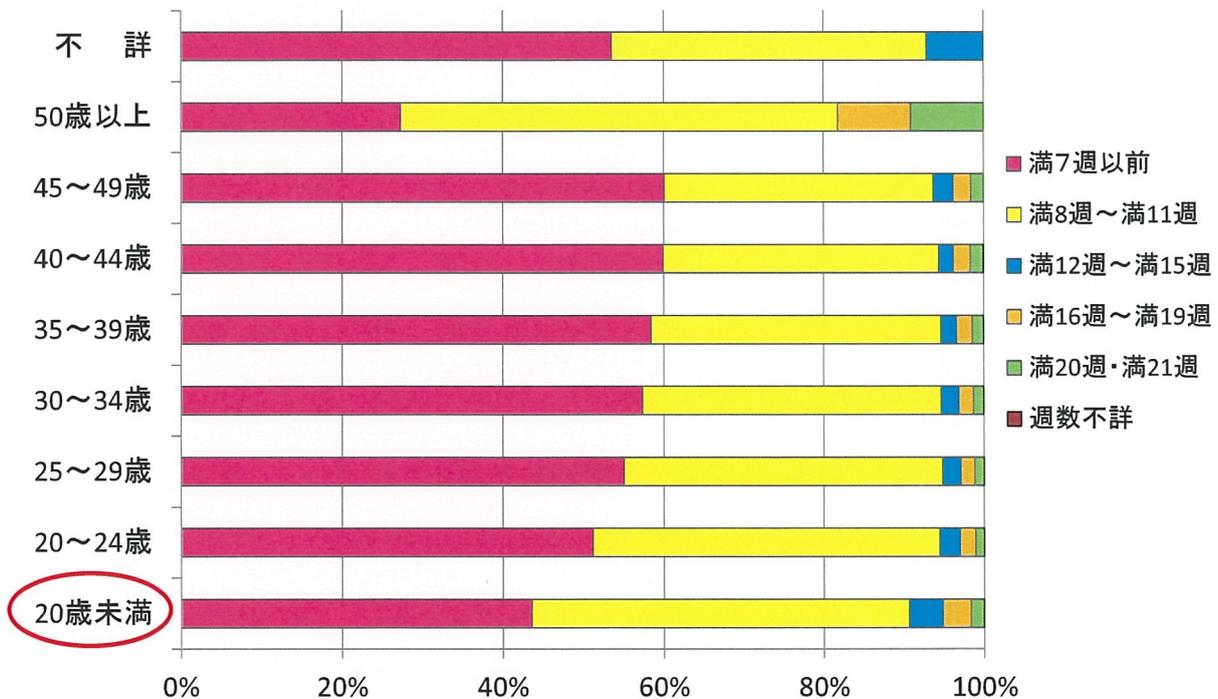
厚生労働省平成29年度衛生行政報告例 と 平成29年人口動態調査 より作図

年齢(歳)	出産数A	中絶数B	中絶選択率 B/(A+B)%
<15	37	218 <sup>●</sup>	85%
15	* 121	518	81%
16	* 459	1,421	76%
17	* 1,296	2,335	64%
18	2,488	3,523	57%
19	5,497	6,113	53%
<b>&lt;20</b>	<b>9,898</b>	<b>14,128</b>	<b>59%</b>
20-24	79,264	39,270	33%
全年齢	946,065	164,621	15%

● 13歳未満中絶 12名  
内、1名は暴行脅迫  
性的同意年齢は13歳

\* 15歳: 1名は第二子出産  
16歳: 13名は第二子出産  
17歳: 80名が第二子、4名が第三子出産

## 年齢階級別人工妊娠中絶週数の比較 (2017年度)



週数別人工妊娠中絶手術の割合

平成29年度衛生行政報告例より作図



若年者ほど、体に負担のかかる中絶手術を受けている

# 暴力的性犯罪の認知件数(件)

(2017年 警察庁のデータ)

罪種	少年 総数	年齢内訳			総被害 件数	少年の 割合(%)
		0-5歳	6-12歳	13-19歳		
強制性交等罪 (男性の数)	442 (12)	3 (7)	88	351 (5)	1,109 (15)	39.9
強制わいせつ (男性の数)	2,888 (170)	58 (120)	835	1,838 (50)	5,809 (200)	49.7
性被害 総計 (男性の数)	3,330 (182)	61 (127)	923	2,189 (55)	6,918 (215)	48.1
全罪種 (年齢判明のみ)	116,563				711,167	16.4

「平成29年中における少年の補導及び保護の概況」及び「平成29年の犯罪情勢」より作成



性犯罪被害は子どもに多く、男性は約3%、12歳以下では約1000名が性被害にあっている(いわゆるレイプは84名)。

## 思春期の子どもたちへの情報の伝え方

## 思春期の子どもたちへのアドバイス ①

- 男子と女子の体とところのつくりが違うこと
- 生き物はすべて自分たちの子孫を残せるように子供をつくる(これを生殖という)行為(事象)があること(=ヒトでは性交)
- ヒトでは子供を育む構造が女性の体内に作られていること
- 思春期にこの構造が完成していくこと

## 思春期のこどもたちへのアドバイス ②

- 月経は女性の体に起こる生殖に関わる現象で、大人の女性になった証であるため月経を前向きにとらえること
- 月経には個人差があり、種々の症状を伴いやすいこと
- 長い期間周期的に経験する月経と上手に付き合うこと
- 男女ともに生殖にかかわるしくみを健康に維持すること
- 生殖の時期は、年齢に限りがあるが、まだ、思春期よりも成長した将来の時期にあること、等

たとえば、中学では教えないことになっている  
性交について、中学生本人に考えてもらう。

セックスの結果なにがおきるか？

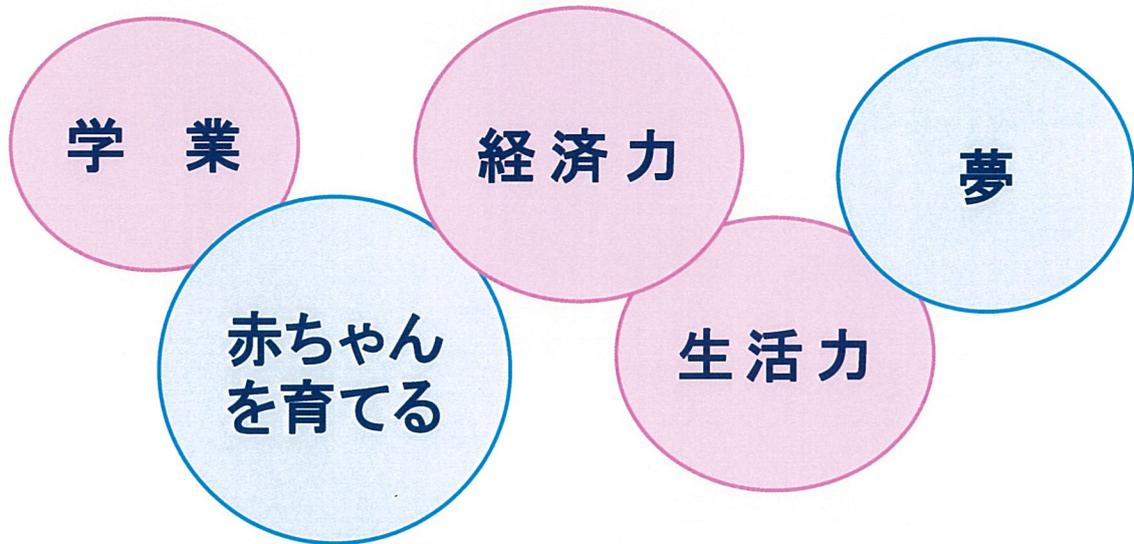
考えてみよう！

「望まない妊娠」「性感染症」を避ける  
ために、あなたは？

「性交はNO！」と言える勇気を持ちたいね  
自分で守ろう、自分のからだ、自分の人生

# 10代の妊娠・出産

もしいま、あなたが妊娠したら？



日本産婦人科医会:「思春期ってなんだろう?性ってなんだろう?」より

## 「望まない妊娠」を避ける行動

- ① 将来を共にする可能性のない相手やお互いの関係がまだ成熟していないときは、性交を持たない
- ② 子育てと学業を両立できない時期にはたとえ好きなパートナーとでも、避妊の用意のない時は性交を持たない
- ③ 正しく、しっかり避妊する

万一の時は  
緊急避妊!

# 緊急避妊法

## 女性ホルモン剤(錠剤)を 性交後72時間以内に飲む

### 注意

- ★産婦人科を受診すること
- ★あくまで「最後の避妊手段」
- ★確実に妊娠を回避できるというわけではない⇒服薬後3週間以内の月経を確認
- ★今後も避妊が必要な状況なら、緊急避妊を繰り返さないで適切な避妊法を行う

## 妊娠しているかどうかの見分け方は？

性行為があつて、次のような場合は、薬局で妊娠反応の検査薬を買って自分の尿で調べて下さい！

- (1) 月経の予定日が1週間遅れている
- (2) 月経血の量がいつもより断然少ない
- (3) 基礎体温の高温期が20日以上続いている
- (4) この頃、気持ちが悪く吐きそうになることがある

産婦人科医会編：学校医と養護教諭のための思春期婦人科相談マニュアルより



妊娠反応が陽性の場合、必ず産婦人科で正常妊娠かどうか調べる必要があります。養護の先生、お母さんなど身近な人にすぐに相談をしましょう。

## 人工妊娠中絶ができる条件とはなんですか？

母体保護法という法律で定められた条件があり、本人が望むから中絶をいつでもできるということではありません。妊娠継続や出産が身体的にも、経済的にも母体の健康をいちじるしく害するおそれのある場合が条件で、かつ、

妊娠22週未満で、本人とパートナーの同意が必要です。

未成年ならば、基本的に保護者の同意の有無も確認されることが多いでしょう。

暴行若しくは脅迫によつて又は抵抗若しくは拒絶することができない間に姦淫されて妊娠したものは、本人のみの同意で足りる

産婦人科医会編：学校医と養護教諭のための思春期婦人科相談マニュアルより

## 性感染症(STD)ってなんですか？

性行為かそれに近い行為で感染が起こるものです。性交でのみ感染するわけではなく、キス(ヘルペスなど)や口や口唇をつかった性行為、肛門性交、皮膚と皮膚の強い接触(疥癬など)などでもうつります。コンドームでも完全には予防できないものもあり、また、喫煙などで、より感染しやすい状態になります。



日本産婦人科医会：「思春期ってなんだろう？性ってなんだろう？」より

## 性感染症の結果は？

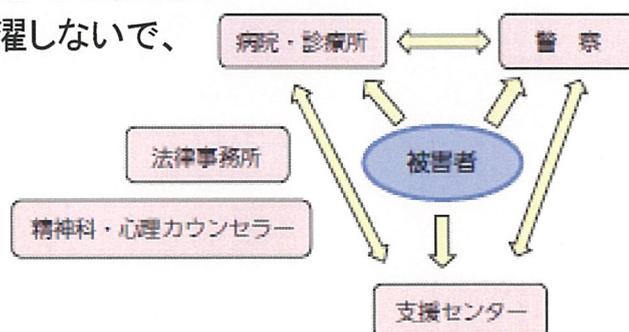
- 性感染症は10代に多く、様々な影響が出やすい
- 感染した男女の健康障害を起こす
- 放置すれば無症候性に周囲に感染が広がっていく可能性がある
- 流産や切迫流産のリスクがある
- 垂直感染で胎児や新生児に感染し、次世代の子供たちに種々の健康障害を引き起こす

↳ 早期発見、早期治療および、定期的な検診が必要

## 性犯罪にあつたらどうしたらよいですか？

あなたは何も悪くはありません。悪いのは加害者です。  
誰もあなたを責めることはないのです。  
信頼できる大人(家族、養護教諭、警察など)に相談してください。

- ① まずは病院(産婦人科)へ行って診察や性感染症の検査を受けましょう。  
被害から72時間以内であれば、妊娠をかなりの確率で回避できる緊急避妊の手段があります。
- ② 加害者を特定できる証拠を残すことを考えましょう。  
被害に遭った時の下着や衣類を洗濯しないで、保管しておきましょう。
- ③ とても勇気のいることですが、警察に相談しましょう。



将来の体のこと、生涯健康である  
ために、若い時に何ができるか？  
目を向けてみよう！

母、祖母のことも念頭に、  
イメージしてください！

日本医師会では、2010年3月学校保健委員会答申において、  
学年別・診療科別・対象（児童生徒、保護者、教師）別の健康  
教育のテーマを整理し、提言している。

この中で、性教育については、産婦人科医会女性保健委員会  
での意見をもとに学年別のテーマを抽出して作成し、医師会長  
への答申としている。しかし、当時も今も、学校現場で中学生  
に対しては、性交、中絶、避妊を教えることになっていない。

受精・妊娠については教えるが、妊娠するまでの過程（どのよ  
うに精子が卵子に到達するか？）は教えないことになっている。  
（2017年の学習指導要領の改訂で、さらに厳しく規制されるよう  
になった事実がある）

しかし、現状をみれば、中学卒業（15歳）までに性交、妊娠、  
人工妊娠中絶、避妊の知識が必要なのは明らかであり、自身  
で判断して行動するスキルを身につける教育が必要である。

発達段階	望ましい教育テーマ
幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の大切さ※</li> <li>・赤ちゃんとのふれあい</li> <li>・動物の温かさを触れて確かめる</li> <li>・健康（食べる、寝る、手を洗う、うがいをする）</li> <li>・友達との共同作業</li> <li>・友達とのふれあい</li> <li>・身体計測</li> </ul>
小学校 低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の大切さ、かけがえない生命</li> <li>・自尊心の育成 《小～中学生を通し継続》</li> <li>・相手を思いやる（老人・障害者とのふれあい）</li> <li>・健康（食べる、寝る、手を洗う、うがいをする）</li> </ul>
小学校 中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の誕生、生命の大切さ</li> <li>・男の子と女の子の身体の違い 《低学年～という意見も》</li> <li>・男女の性器 《低学年～という意見も》</li> <li>・第二次性徴（乳房・恥毛・身長伸び・月経発来・声変わり・精通） 《中学年～高学年を通し継続》</li> <li>・大人との関わり方（ネットなどの利用について）</li> </ul>
小学校 高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次性徴（乳房・恥毛・身長伸び・月経発来・声変わり・精通） 《中学年～高学年を通し継続》</li> <li>・思春期の心理と男女交際</li> <li>・情報の正しい選択の仕方</li> <li>・友達との関わり方</li> <li>・性的接触</li> <li>・性感染症とその予防、HIV 感染経路、HPV と子宮頸がんの関係 《高学年～中 1 を通し継続》</li> <li>・性犯罪被害の防止 《低学年～という意見も》</li> </ul>
中学校 1 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月経のトラブルとその対処法</li> <li>・性感染症と予防、HIV 感染経路、HPV と子宮頸がんの関係 《高学年～中 1 を通し継続》</li> <li>・性交、妊娠、避妊、マスターベーション 《高学年～という意見も、性交、妊娠、避妊については、中学を通して継続》</li> <li>・“妊婦健診”の重要性、出産や中絶の費用等の経済面</li> <li>・妊娠・出産の母児のリスク、親となることの責任</li> </ul>
中学校 2 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・望まない妊娠、人工妊娠中絶</li> <li>・援助交際の防止 《高学年～という意見も》</li> <li>・デートDV、性犯罪被害の防止</li> <li>・ケータイ依存 《中学～高校全般》</li> <li>・メディア・リテラシー</li> </ul>
中学校 3 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚</li> <li>・妊娠、出産、子育て 《中 1 ～という意見も》</li> <li>・性の悩み</li> <li>・同性愛、性同一性障害</li> </ul>
高校 1 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性感染症一次世代への感染と影響</li> <li>・不妊症</li> <li>・高齢妊娠、妊孕性</li> </ul>
高校 2 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間尊重</li> <li>・男女交際</li> <li>・すべての子どもが望まれて生まれてくるために</li> </ul>
高校 3 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リプロダクティブヘルス全般</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>※生命の大切さ（幼稚園～高校まで各発達段階で組み入れるが、特に小学校中学年までの教育は重要）</li> <li>・基本的に、小学校中学年以降は、どのような話をするのか、事前に教職員から保護者にも説明が必要</li> <li>・小学校高学年と中学 1 年時に産婦人科医からの講義が望まれる</li> </ul>

（日本医師会学校保健委員会：学校保健委員会答申、平成 22 年 3 月より引用、改変）

## ユネスコが示した思春期の性教育ガイダンス

- ・ ユネスコが2009年に包括的性教育の国際ガイダンスを示し、2018年1月に改訂している（国際セクシュアリティ教育ガイダンス 明石書店 2017）。日本以外の多くの国（EU圏のみならず、台湾、韓国、中国など）は性教育にこれを取りいれている
- ・ 上記ガイダンスでは、性教育は学校で推進されねばならないと強調している（子供たちが多くの時間を学校ですごし、かつ、学校であれば信頼できる情報に基づき、適切な方法で性に関する学習ができるため）
- ・ 発達段階に応じて課題を設定し、18歳までには自己決定できるスキルを身につけられる教育をすることとしている

## 日本の思春期性教育のまとめ

- 日本の学校での性教育(学習指導要領)は、課題の設定段階で現場の状況との間にずれがある。
- 素敵な大人になるための広い意味での健康教育=性教育
- 子供達へ伝えたいこと、考えてほしいことを押しつけの形ではなく教育指導し、自身で責任ある選択と実行ができるように、行政と学校現場が一体となって推進し、産婦人科医師を活用して有効な性教育を実践していただきたい。

## おわりに

中学卒業までに、正しい、しっかりとした性の健康教育をしていけるように、ご支援をお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました

m( )m